

全国

検数労連

第842号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@knsu.jp

ホームページ http://knsu.jp/

 全国検数労働組合連合
 書記局

6月29日(月)第5回検数労連 26 夏季一時金交渉 15:30~16:30
修正回答に向け追求するも前回交渉時の回答から変化なし。
これ以上の修正は困難であると判断し、機関手続きを表明。

《第5回交渉》

6月29日(月) 第5回検数労連 26 夏季一時金交渉で、組合は両協会より前回の交渉時に提示された有額回答に対する修正を求め、交渉を行いました。

【全日検】

前回の交渉で有額回答を提示したものの、労組より修正回答を求められ持ち帰り検討した。しかしながら、前回の交渉で提示した回答は26年度の収支状況を検証したなかで到達した回答であり、これ以上の修正は困難であることを理解願いたい。
 諸要求については、現行通りの回答でお願いしたい。

【日検協会】

前回の交渉で労組より有額回答に対して修正を求められ持ち帰り内部検討したが、前回の交渉で提示した回答は、これまでの収益状況等を様々な角度から検討したなかで、最大限努力した回答であることから、これ以上の修正は困難である。
 労組においては、現回答をもって英断を願いたい。
 諸要求についても、現行通りの回答で理解を願いたい。

《組合主張》

組合は両協会の回答を受け、休憩を挟み検討を行った結果、組合要求との関係では不満が残るもの、これ以上の修正回答は困難であるとし、次の通りの主張を行ったうえで機関手続きに入る旨を表明しました。

《両協会に対して》

①本日、修正回答が示されなかったことは不満を残す結果となった。
 ②厳しい生活状況のなかで一時金は生活を支える重要な賃金であり、すべての組合員が等しく安定した水準の一時金を確保できることが、組合の基本的な要求であることをしっかりと受け止めること。
 ③アルファ回答(全日検・調整加算、日検協会・業績加算)による支部間格差回答については、日々人員不足の中で職場を支え、努力している組合員の納得感や働く意欲を損なうものとして受け止めること。
 ④支給条件(長期病欠者の支給基準の70%支給、通勤災害も労災と同等の取り扱い)および諸要求(厚生年金保険料の労使負担割合の見直し)については、具体的な前進回答が示されず不満を残す結果となった。

次回交渉 第6回検数労連26夏季一時金交渉

7月3日(金)14:30~

各地域闘争委員会は26夏季一時金中闘見解に対する意見を7月2日(木)14:00までに中央本部へFAX またはメールで送ること。